

## 荒天対策を万全に！！

これからの季節は、主に台風の影響によるプレジャーボートの事故が多く発生しています。

特に不適切な係留方法により、係留中のプレジャーボートが海上に流出する事案が増加します。

自分の係留状況・係留方法を再度確認しましょう。

係留中のプレジャーボートが、無人漂流に至る原因は、荒天対策不足である「**係留不備**」が最も多いです。



係留不備により流出し、漂着した小型船舶

第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

(代表) 022-363-0111

(直通) 022-365-9609



マリレよろず

検索

マリレ情報よろず屋URL>>> <http://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/yorozuya/index.html>

# 係留不備による漂流事例

Aさんは、台風の接近に伴い、海上荒天となることが予想されたものの、自身が所有するプレジャーボートに特段の荒天対策はせず、通常どおりの係留状態とした。

台風通過後、Aさんのプレジャーボートは、係留索が擦り切れ、海上を漂流しているところを発見された。

原因

これまで被害に遭ったことが無かったため、今回も大丈夫だろうと思い、荒天対策をしなかった。

## 荒天対策の例

- 一. 係留索の点検（古くなっている、擦り切れそうになっている等を確認し、必要に応じ交換）
- 二. 係留索が、直接岸壁や船べりと擦れないよう、擦動部にゴムホースやウェスを当てるなど、擦れ防止対策をする。
- 三. 陸揚げした場合でも、船体を固縛するなど、横転防止策を施す。
- 四. ハッチ、出入口などの開口部は閉鎖し、海水や雨水の浸入を防ぐ。

## 自己救命策確保3つの基本

- 1 海の事件・事故は海上保安庁緊急通報番号 **118番**へ！
- 2 ライフジャケットの常時着用！
- 3 連絡手段の確保！



マリレ情報よろず屋  
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト  
(沿岸域情報提供システム)

